

哲学堂の樹木や環境を守った経験を生かし、都心の貴重な緑

100年育てた神宮外苑の緑を守ろう



2018年12月1日に着工予定でしたが哲学堂開発は中止に
(敷地の角にあった「お知らせ看板」は10月18日に撤去)



↑LINEでもお気軽に↑Twitter (動画有)

「区が決めた」と変えるのは難しい」など、あさりの声が出る一方、署名を集め、中野区と交渉するなど、哲学堂の環境を守り立上がつた皆さんと、川村のりあきはともに考え行動。新宿区議会でただ一人、この問題を取り上げ、豊かな自然環境、避難所に指定されることなどを指摘し、中野区へ意を伝えました。さらに、東京都と文部科学省の担当者からの聞き取りの中で、中野区が区民にしている説明が間違っていることを明らかにし、最後は開発ストップを公約とする新区長が誕生し、住民を交えた検討をする中で、哲学堂の環境は守られたのです。

賛成だけでは大事なものは守れません。私は、哲学堂の緑を守ったように、神宮外苑の緑を守るために頑張ります。署名に取り組んでいます。ご協力いただけの方、ぜひ連絡ください。



日本共産党 新宿区議会議員 区議会文教子ども家庭委員会副委員長

川村のりあき

区議団二コース

4月9日 №364

発行 川村のりあき
事務所 中井一丁目一
自宅 西落合一丁目一
電話 070-6510-8893
メールアドレス kawamura.noriaki71@gmail.com
ホームページ 「川村のりあき」で検索

地域住民の皆さんに親しまれていた哲学堂公園。中野区が5年前、突然発表した「再生整備計画」は、「観光の拠点にする」として、樹木の大量伐採、児童遊園を極端に縮小するなど住民不在の計画でしたが、中止に追い込みました。坂本龍一さんが、「守ってほしい」と最期の手紙を書いた、神宮外苑の緑。樹木伐採をストップさせました。

今年も桜が満開に

立ち上がつた皆さんとともに

今回の議会で私たちは、区の「まかし」といってもいじやつ方を明らかにしました。今まで開発ができなかつた地区を、開発のできる地区に変え、議会にも都市計画審議会にも報告せず、樹木伐採のことが問題になつた時もだんまりを決め込んでいたのです。あまりにも不誠実です。もともと「の計画は逮捕者が多数出でいるオリンピックのための再開発計画に端を発していると指摘されています。国民の献木により百年かけて育てた都心の貴重な緑、今回の許可はまだ一部で、諦める必要はありません。

まだストップできることも 怒りを呼ぶ、区の「まかし

神宮外苑の緑が危ない

川村のりあき